



弓削商船だより

独立行政法人 国立高等専門学校機構 弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削1000番地 TEL 0897-77-4617 FAX 0897-77-4680
企画広報室 情報・広報係 ホームページアドレス <https://www.yuge.ac.jp>



練習船「弓削丸」命名・進水式

目

次

新弓削丸の建造に立ち会えて	1	モンゴル技術科学大学での海外インターンシップに参加して	7
令和5年度 後期級長・副級長・学級担任一覧	2	タイ国・ナコンパノム大学での海外インターンシップに参加して	8
学生会よりごあいさつ	2	各種資格試験合格者一覧	8
クラブ活動成績	3	各賞受賞者一覧（令和5年度 M科・I科卒業生、AP修了生）	9
学生体験談（美術部・書道部・吹奏楽部）	3	公開講座「第1回ランニングチャレンジ in 弓削商船高専」を開催	10
令和5年度四国地区高等専門学校総合文化祭	5	ドコモのスマホ教室を開催	10
最高の商船祭！	5	尾道COOL CHOICEプロジェクト「海事教室」を実施	10
全国高専ロボコン2023四国地区大会	6	行事アルバム	11
デザコン2023 in MAIZURU	6	学生相談室のご案内、カウンセラー紹介	11
留学生スピーチコンテスト体験談	7		

新弓削丸の建造に立ち会えて

校長 石田 邦光

新弓削丸は4代目として三菱重工マリタイムシステムズ株式会社において建造され、令和5(2023)年5月12日に起工式を、令和5(2023)年10月6日に進水式を挙行了し、令和6(2024)年3月12日に竣工いたします。

商船系高専5校における新練習船の建造計画は、文部科学省をはじめ多くの方々のご尽力によるものです。そして、校長として新弓削丸の建造に立ち会えた幸運に心から感謝しています。そこで、せっかくの機会ですので、建造計画が決まるまでの経緯をここに記しておきたいと思います。

平成29(2017)年、各校の練習船はすでに船齢20年を超えて、その老朽化が深刻な問題となっていました。学生の安全確保、最新技術を取り入れた教育の高度化を実現するためには、新たな練習船の計画的な建造が必要でした。そこで、「5商船高専練習船更新WG」が設置され、代船建造に向けての作業がスタートしました。

そして、度重なる検討を経て、令和元(2019)年5月に、文部科学省へ練習船代替新造要望書を提出しました。その後、同年10月に各校において校内練習船代船建造期成会を結成し、同年11月に自民党本部において自民党の海事立国推進議員連盟と高等専門学校小委員会が主催する「商船高専練習船更新と教育充実に向けての集会」が開催され、国会議員、海事関係団体、文部科学省、国土交通省、高専機構及び期成会の関係者が出席し、決議「最新鋭機器等の導入による計画的な練習船の更新の実現」が採択され、財務省及び文部科学省に要望書を提出しました。そして、同年12月に令和元(2019)年度補正予算案・令和2(2020)年度当初予算案について、商船高専等の練習船整備の予算確保が閣議決定されました。

建造は、船齢に従って大島丸、弓削丸、鳥羽丸、若潮丸、広島丸の順で行われ、その大きさなど、できるだけ同じ仕様とするシリーズ船として計画されることになりました。

5校の新たな練習船は、現広島丸及び若潮丸と同等のサイズとすることで、BRM (Bridge Resource Management)・ERM (Engine Room Resource Management) 技術の効果的な訓練が可能になるほか、実習・作業の安全確保にも配慮がなされ、共通した研究計測装置、災害支援機能を装備しています。さらに、シリーズ船にしたことにより多くの点で、5校での航海実習の均質化と高度化が図ることができます。

また、各校の練習船はそれぞれの特色を生かした練習船にもなっています。

新弓削丸は「海洋立国を支える海洋人材の育成と災害支援機能を備えたシリーズ船」として設計され、IoTを活用した実習環境や充実した船内環境を持っています。船陸間通信システムを備えており、航海実習中の船内外のさまざまなデータをリアルタイムで送受信することが可能です。これによって、校内のシミュレータ室において、練習船実習を仮想体験することもできます。災害支援機能の特徴としては、給水・水移送能力が高く、簡易医療設備も搭載しています。船内は、感染症への対応やダイバーシティへの配慮がなされ、さらに携帯電話の船上基地局も搭載しています。

新弓削丸は、マザーシップとして、「弓削の子」を、ときに優しく、ときに厳しく育ててくれるでしょう。そして、次世代に求められる知識・技能、そして人間力を備えたる優れた海洋人材の育成に寄与し、地域や社会に大いに貢献してくれるものと確信しています。



建造中の船橋



建造中の機関制御室



総トン数：380トン、全長：56.33m、全幅：10.60m、満載喫水：3.40m

令和5年度 後期級長・副級長・学級担任一覧

学 科	学年	級 長	副 級 長	担 任
商船学科	5年	川 東 大 助	田 頭 佳 乃	秋 葉 貞 洋
電子機械工学科	5年	上 野 智 貴	江 口 郁 輝	森 耕 太 郎
情報工学科	5年	原 田 珠 緒	植 田 結 愛	柘 田 温 子
商船学科	4年	—	—	—
電子機械工学科	4年	赤 木 優 太	岡 野 正 俊	大 澤 茂 治
情報工学科	4年	箱 崎 和 寿	松 田 優 和	益 崎 智 成
商船学科	3年	田 邊 日華利	天 野 公 平	山 崎 慎 也
電子機械工学科	3年	佐々木 親 康	宮 澤 琉 伊	政 家 利 彦
情報工学科	3年	徳 岡 桜	東 谷 京 佳	榎 本 浩 義
商船学科	2年	海老原 聡太郎	庄 司 宗太郎	水 崎 一 良
電子機械工学科	2年	西 迫 元 太	松 本 大 和	富 永 亮
情報工学科	2年	後 藤 大 知	五 所 杏 太	日 下 佳 春
商船学科	1年	宗 實 凌太郎	山本 イサベラ	野々山 和 宏
電子機械工学科	1年	平 盛 優 希	越 智 彪 雅	金 田 伸
情報工学科	1年	井 上 勇 瑠	三 浦 陸 輔	山 本 健 太

学生会よりごあいさつ

こんにちは！

私たち学生会は、学生の皆さんのために日々活動しています。学生会は、学生の声を代表し、学校生活をより良くするために様々な取り組みを行っています。

学生会の成果については、以下のような活動があります。

1. イベントの企画と運営：様々なイベントを企画し、学校内で実施しています。例えば、商船祭や球技大会など、学生が楽しめるイベントを開催しています。
2. 学生の声を代表する：学生の声を集め、学校の関係者に伝える役割も担っています。学生の意見や要望を取り入れることで、学校環境の改善に取り組んでいます。
3. 学校施設の改善：学校の施設や設備の改善にも力を入れています。学生の要望を反映させながら、学校環境の充実を図っています。

これらの活動を通じて、学生会は学校生活の充実や学生の満足度向上に貢献しています。また、学生の代表として学校全体の発展に取り組

んでいます。

私たちの目標は、皆さんの意見や要望を反映させながら、より良い学校環境を作り上げることです。

皆さんの声を聞きながら、より良い学校生活を実現するために、学生会は全力で取り組んでいます。皆さんの参加や意見をお待ちしていますので、どんな小さなことでも気軽に相談してください。

一緒に楽しい学校生活を作り上げましょう！
学生会一同



クラブ活動成績

部活動名	大会名	部門	成績	クラス	氏名 (個人の場合)	場所	日程	
ロボット研究部	アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2023四国地区大会		デザイン賞, 特別賞 (マブチモーター株式会社)	M5	窪田 蒼	高知工業高等専門学校 第2体育館	令和5年 10月22日(日)	
				M5	渚 心人			
				M5	渡辺 翔太			
3Dデザイン同好会	第20回 全国高等専門学校デザインコンペティション2023 in 舞鶴	AMデザイン部門	優秀賞 作品名 「ディスプレイ持針器」	生1	福本 航右	舞鶴市総合文化会館 舞鶴赤れんがパーク	令和5年 11月11日(土) ～12日(日)	
				M5	柴崎 彩香			
				M5	野上 竜希			
		AMデザイン部門	審査員特別賞 作品名 「トップナー」	M4	細矢 寧々			
				M4	嶋川 隼			
				M4	菅野 琴路			
				M4	萩原 聖大			
				M3	ヒアン シクトング			
美術部	第45回 四国地区高等専門学校総合文化祭	絵画部門	佳作	I3	森上 彩夏	新居浜市市民文化センター	令和5年 12月9日(土)	
佳作			I1	森山 玲奈				
書道部		佳作	書道部門	佳作	S3			藤原 夢華
				佳作	S2			庄司宗太郎
吹奏楽部			吹奏楽部門	奨励賞				
マイコン部		プログラミングコンテスト部門	第3位					
catapult	KOSENセキュリティコンテスト2023		第2位	生1	下見 真生	ハイブリッド開催 (オンライン・木更津高専会場)	令和5年 11月18日(土)	
				生1	當田 斐之			
				I2	石橋 治樹			
				I2	松田 柚鈴			
3Dデザイン同好会	高専GCON2023		優秀賞	M5	柴崎 彩香	日経ホール (東京都)	令和6年 1月21日(日)	
				M5	瀬野 舞子			
				M5	細矢 寧々			
	第29回 高専シンポジウム in Nagaoka		独立行政法人国立高等専門学校機構理事長賞	I5	岡野 紗羽	米百俵プレイス ミライエ長岡, 長岡工業高等専門学校	令和6年 1月26日(金) ～27日(土)	
I5				長畑 桜弥				

学生体験談

美術部

美術部は、アナログとデジタルのどちらでも活動できます。特にアナログで絵を描く場合の道具はたくさんあり、幅広い分野で絵を描くことができます。油絵やコピック、水彩、漫画などを使い自由に描くことができます。この中で油絵について紹介します。油絵では、油絵用のキャンバス、筆、イーゼルなどが揃っています。油はネオペインティングオイルとテレピンがあり、下書きから絵を塗り込むことが可能です。油絵は塗りを何回も重ねていくうちに色彩豊かな絵になっていくところが魅力的です。初心者でも描くことを続ければ様々な絵が描けるようになりますし、実際にそうでした。絵が描けるようになるにつれて油絵を楽しむことができます。一度描くだけ描いてみれば油絵の魅力に気づきます。そこからどんどん油絵に没頭するようになると思います。油絵以外にも何を使って描くのかは自分の自由

です。美術部に入れば絵を描く道具を自由に使ってなんでも表現できると思います。一度、自分の想像力を絵で表現してみませんか？



学生体験談

書道部

弓削商船高専書道部は、現在男子10名、女子5名の計15名で活動しています。

文字を「書く」だけでなく、「彫る（篆刻）」、「裏打ち（表装）」など、さまざまなスタイルで書の世界を愉しんでいます。

一人一人が先輩方の作品や図書館にある古典の資料を参考に顧問の先生方と相談し、書きたいと思うものを制作しています。作品は、楷書・行書・隸書の半切や、仮名の複数枚、写経、色紙短冊など多岐にわたります。部活動だからこそ、全紙など普段は書くことができないような大作にも挑戦できます。

12月の四国地区高専総合文化祭では、入賞を目指して、多くの部員が夜遅くまで制作に励んでいます。また、商船祭での書道パフォーマンスや、県主催の

書道大会や高校生国際美術展に出品しています。今後も書道部の活動を通して、さまざまな日本文化を再発見できるような活動をしていきたいと思っています。



吹奏楽部

吹奏楽部は少人数で活動しています。日々、商船祭や四国地区高専総合文化祭にむけて練習に励んでいます。吹奏楽で有名な曲や、最近のはやりの曲まで幅広いジャンルの曲に挑戦しています。

私は小さい頃から音楽が好きで、小学生のときからクラリネットをはじめ、高専生活の5年間も吹奏楽部に所属してきました。

今年度は夏に開催された、「あおによし音楽コンクール奈良 チャレンジコース」に私と後輩、日下教官と要教官の4人でアンサンブルでの参加をしました。演奏した曲は、「主よ、人の望みの喜びよ」という皆さんも一度は聞いたことがあるかもしれないバッハが作曲した曲です。このコンクールでは「息の合ったアンサンブル賞」を受賞することができました。審査員の方からも、「響きがよかった」「楽しさが伝わってくる演奏だった」「軽快な演奏で素敵だった」と評価していただき、自分の演奏に自信を持つことができました。また、審査員の方からのアドバイスもいただくことができ、商船祭と総合文化祭に向けての練習の参考になりました。

商船祭では全体合奏で2曲演奏しました。1曲目の「RPG」は自分でも満足のいく演奏ができましたが、2曲目の「残響散歌」はテンポが速く、音のタイミングが合わない箇所もあり、部員一同総合文化祭に向けてめげずに練習に打ち込みました。

総合文化祭では、商船祭の曲に「となりのトトロ

電子機械工学科 5年 瀬野 舞子

メドレー」と「塔の上のラプンツェルメドレー」を追加して計4曲演奏しました。そして、練習の成果もあり奨励賞を受賞することができました。今までの総合文化祭では賞を受賞することができませんでしたが、卒業年に奨励賞という結果を残せたのはとても嬉しかったです。

吹奏楽部での活動がここまで充実することができたのは、保護者及び教職員の方々の多くの支えがあったからです。ここで学んだことを社会でも活かせるように頑張ります。ありがとうございました。



令和5年度四国地区高等専門学校総合文化祭

12月9日(土)、令和5年度四国地区高等専門学校総合文化祭が新居浜市市民文化センターにて行われ、本校学生会からは会長、副会長が参加しました。コロナ禍以降、4年ぶりの通常開催となりました。この総合文化祭は各校の吹奏楽、軽音楽、書道、美術等々の文化部が集まり、今まで練習や研究してきた成果を発表し合います。同じ分野の部活動でもそれぞれの特色、多種多様なアイデアが詰まった発表を見せ合うことで良い刺激を受け、今後の活動に活かせる有意義な時間になったと思います。部活動のみならず、各高専の学生会

役員との交流会も行いました。校則や学生会の組織図、会計の方法等、様々なテーマについての意見交換や、各高専の取り組みの共有を通して自分たちの学校をより良くするためにはどうすればよいか考え直す良いきっかけになりました。この総合文化祭は四国の高専同士の横のつながりを強める良いイベントだと思います。参加したことのない学生はぜひ参加してみてください。ここにしかない新たな発見があるはずです。

学生会役員一同



最高な商船祭！

商船祭実行委員長 情報工学科 4年 横井 琥珀

11月3日(金)、4日(土)に商船祭を開催しました。今年度の商船祭はコロナ禍が明けて初めて制限なしで実施し、大規模で開催することができました。

今年度の商船祭のテーマは、「再始動」で、以前のような活気のある商船祭にしたい、新しいことに挑戦したいという意味を込めています。模擬店では、焼き鳥、唐揚げ、ポテトフライはもちろん、弓削商船高専の学生が作った弓削商船カレーや、仮装した学生が接客する喫茶店など様々な種類の店が出店していました。屋外での模擬店の出展だけではなく、校舎でのクラス単位の出展もあり、学校全体が華やかになった文化祭になったのではないかと思います。

また、外部からのスペシャルゲストとして「ひめキュンフルーツ缶」さんに来ていただき、屋外ライブをおこないました。ライブは過去最高の盛り上がりを見せ、今年度の商船祭の1番の目玉イベントになりました。また、学校全体を探索できるスタンプラリーや、ビンゴ大会、腕相撲大会など弓削商船高

専ならではのイベントもたくさん開催しました。今年度は、桟橋が工事中だったため、弓削丸体験航海はありませんでしたが、来年度は新しくなった弓削丸に乗って体験航海ができると思いますので、ぜひ来年度の商船祭にお越し頂けると幸いです。

結びに、商船祭を開催するにあたって多大な御支援を賜りました関係各位の皆様には厚く御礼を申し上げます。これからも、素敵で活気あふれる商船祭になるよう願っています。来年度もぜひお越しください。



全国高専ロボコン2023四国地区大会

10月22日(日)、「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2023四国地区大会」が高知工業高等専門学校第二体育館にて開催されました。

今年度の競技課題は「もぎもぎ!フルーツGOラウンド」で、フルーツに見立てたボールを収穫することと、収穫したフルーツを2つの障害物を攻略し、スタート地点へ運ぶことでした。

本校からはAチーム(ロボット研究部)及びB

チーム(電子機械工学科5年生)の2チームが参加しました。両チームとも予選リーグ敗退でしたが、共に1勝を挙げる事ができました。負けた試合も接戦で、会場を大いに沸かせました。

表彰式では、Bチームが「独創的な発想から生まれた機構、かわいい表情のロボット、安定したハンド」を評価され、デザイン賞と特別賞(マブチモーター株式会社賞)を受賞しました。



デザコン2023 in MAIZURU

11月11日(土)~12日(日)の2日間にわたり、舞鶴高専が主管となり「第20回全国高等専門学校デザインコンペティション(デザコン2023 in MAIZURU)」が開催されました。本校からは、「AMデザイン部門」へ電子機械工学科の5年生中心のチームと4年生中心のチームの2チームが出場しました。

「AMデザイン部門」は、3Dプリンタを使って自由な発想と独創的なアイデアを競う部門であり、今年のテーマは“新しい生活様式を豊かにするアイテムの開発”でした。

「AMデザイン部門」には全国高専から18チームがエントリーし、予選(書類審査)を通過した本校の2チームを含む9チームが本選に出場しました。

1日目には口頭発表と質疑応答、2日目はポスターセッションにより審査が実施されました。

本校は、5年生中心のチームが「ディスポ持針器」という、救急・災害医療現場で活躍する使い捨ての持針器を考案し、見事「優秀賞」を獲得しました。医療従事者に使用してもらいながら改良を重ねたことが評価されました。

4年生中心のチームは、トップシール包装(容器の天面にフィルムを熱で溶着密閉する包装形態)が急増している世の中において、指先が不自由な人でも簡単にトップシールを開けることができる「トップナー」というものを考案し、見事「審査員特別賞」を受賞しました。



留学生スピーチコンテスト体験談

情報工学科 5年 トブシンザヤ ブフビレグト

12月3日(日)、松山市で行われた「第20回留学生日本語スピーチコンテストin愛媛2023」に出場しました。このコンテストは、愛媛県内に在住する高校、高専、大学、大学院の留学生を対象としたものです。私は3年生の時に、日本語の授業でスピーチコンテストへの出場を勧められました。2017年に最優秀賞を受賞した先輩の動画を見て、挑戦することにしました。スピーチ原稿を作ること、人前で話すことも初めてです。会場にはたくさんの人がいるし、ラジオやテレビ、ネットでのライブ配信もあり、とても緊張しました。それでも私は優秀賞を受賞することができました。次を目指して、4年生の時も挑戦しましたが、油断して、練習をしなかったので、何も受賞できませんでした。とても悔しかったので、5年生の時に3回目の挑戦をすることにしました。今回のテーマは「頑張れ、ビレグト」でした。日本に留学するためにモンゴルで勉強していた時、そして弓削島にきてからも、いつも家族や友達、先生にたくさん応援してもらいました。その経験話をしました。私は最優秀賞を狙っていました。しかし、他の人のスピーチを聞いていたら、あまりの上手さに驚き、自信がなくなりました。でも今回の私は今まで

と違います。本番まで1ヵ月しかありませんでしたが、コツコツ、毎日練習しました。「コツコツ勝つコツ」です。いつもより少し早口でしたが、無事に最後まで話すことができました。結果は佳作でした。やはりみんなとても上手でした。スピーチコンテストに出場して、練習の大切さがよくわかりました。この3年間で優秀賞1回、佳作1回を受賞しました。このキャリアを帰国してからも、活かしていきたいと思います。そして、これから日本に来る後輩の留学生には、「コツコツ勝つコツ」を伝えます。是非スピーチコンテストに参加して、いろんな経験を積んでほしいと思います。



南海放送 YouTube配信より
<https://www.rnb.co.jp/radio/speech-contest/>

モンゴル技術科学大学での海外インターンシップに参加して

電子機械工学科 5年 野上 竜希

2023年9月に、私は約14日間、モンゴル技術科学大学での海外インターンシップに参加しました。大学はモンゴルの首都であるウランバートルに位置しています。この期間中、私は工学分野において幅広い知識を得ることができました。ほとんどの講義は英語で行われました。私は留学経験があるため普段から英語の勉強をしていましたが、専門的な内容には難しい単語や理論が多く、理解に苦労しました。そのため、宿舎に戻ると学んだ内容を復習し、次の授業で活かすよう心がけました。専門的な英語学習の必要性を改めて感じました。

最初の週は電子工学部で、主に電子機器に関する授業を受けました。モータや電子制御プログラミングなど、幅広いトピックに触れることができました。

次の週は機械工学・交通学部で、自動車のエンジン、マシニングセンタ、材料の加工について学びました。実践的な実習が充実しており、専門分野を深く学びたい学生にとって理想的な環境でした。両学部の先生も、私たちが授業の内容に追いつけないときは、全員が理解できるまで丁寧に説明してくれ、非常に親切でした。

土曜日と日曜日は学校が休みで、放課後や休日に

は地元の知り合いと一緒に遊びに行きました。初めての環境で不安もありましたが、現地の人々は非常に親切で、彼らとの交流を通じて観光を楽しむことができました。

モンゴルは遊牧民の国として知られていますが、都会ではその姿を見ることは難しかったです。しかし、田舎地域ではラクダに乗ることができ、自然を満喫できました。モンゴルの田舎は広大な草原が地平線の向こうまで広がり、自然に溢れた美しい場所でした。

今回のインターンシップを通して、新しい環境で学ぶ大切さを再認識しました。また、今回の留学を通して海外へのハードルが下がったと感じており、また海外で学びたいと心から思います。



タイ国・ナコンパノム大学での海外インターンシップに参加して

情報工学科 5年 近藤 新

2023年12月に、私は約12日間、タイ国・ナコンパノム大学での海外インターンシップに参加しました。この期間中、私は大学の見学、メコン川の水質検査、LDHホイルの性能調査、ドローンによるメコン川の流速測定を行いました。大学の見学では様々な学部を見学させていただきました。パイロット養成学部の見学では、実際に機体に乗せてもらい、運転席の装置について説明をもらうなど貴重な体験ができました。また、モーターや電子制御など私が学習していない専門分野の本格的な学部展示を見て、専門分野への関心が高まりました。大学の方々とはい、主に英語を使ってコミュニケーションをとりました。大学見学の際の説明も英語で行われ、意味を理解するのに苦労しました。今まで学習してきたような単語などは理解ができ、会話の流れはくみ取れましたが、専門用語が出てくると理解に時間がかかりました。実験の結果をタイの学生に英語で発表する機会がありました。質疑応答などもすべて英語で行ったため、英語への抵抗が少なくなりました。

昼食は、大学の方々と一緒に食べる機会が多くタイの料理、文化にたくさん触れることができました。

した。休日には、ラオスやバンコク、アユタヤ遺跡を巡り、日本ではできない経験をすることができました。特に、アユタヤ遺跡ではタイの歴史を学んだり、ゾウに乗ったりと観光も満喫しました。

今回のインターンシップを通して、新しい環境で学ぶことで知識や価値観などが広がりました。つたない語学でも、自分から話しコミュニケーションをとることで、語学の上達、モチベーションの向上につながると感じました。今回の留学で海外への興味が高まり、また海外で学びたいと思いました。



各種資格試験合格者一覧

(学年は取得時)

◆海技士（航海）2級

秋山 耕一（S5） 川東 大助（S5）

藤田 絢音（S4）

◆海技士（機関）2級

佐々木李莉（S5） 佐藤 海（S5）

住田 涼太（S4）

◆ITパスポート

田房蓮一郎（I2）

◆日本漢字能力検定2級

森 諒菜（I1）

◆日本漢字能力検定準2級

石橋 治樹（I2） 鮫島 凜織（I2）

日野 涼星（I1）

◆日本漢字能力検定3級

丹藤 大馳（M1） 内田 晴海（I1）

仲宗根 和（I1）

◆日本漢字能力検定4級

田中 暖人（S1）

◆日本漢字能力検定5級

チャルンキット タナーシン（I4）

◆P検準2級

井上稟太郎（I2） 大橋万惟音（I2）

岡田 凜（I2） 岡野 晴菜（I2）

長田 龍翔（I2） 加納 葵（I2）

河上 楽夢（I2） 北川 夏希（I2）

北畑 勇河（I2） 鮫島 凜織（I2）

菅原 小鈴（I2） 中川 結仁（I2）

藤田 杏衣（I2） 藤原 歩華（I2）

堀 千秋（I2） 峯 南々星（I2）

宮地 權湮（I2） 村上 穂佳（I2）

村上 優羽（I2） 村田 真菜（I2）

柚木 碧海（I2） 渡邊 亜紀（I2）

伊藤 音人（I1） 平松夏々翔（I1）

村上 柊二（I1）

◆P検3級

小田 紘平（I1） 竹島 楓（I1）

戸田 陽菜（I1） 仲宗根 和（I1）

藤岡 未来（I1） 森 諒菜（I1）

森山 玲奈（I1）

各賞受賞者一覧

(令和5年度電子機械工学科・情報工学科卒業生，生産システム工学専攻修了生)

■体育功労賞

学 科	氏 名	所属クラブ	活 動 成 績
電子機械工学科	渚 心 人	陸上競技部	第57回全国高専体育大会 4×100mR 出場
			第56回全国高専体育大会 4×100mR 出場
			第54回全国高専体育大会 4×400mR 出場
	藤 原 翔 一	陸上競技部	第58回全国高専体育大会 100m 出場
			第58回全国高専体育大会 走幅跳 出場
第57回全国高専体育大会 三段跳 第8位			
第57回全国高専体育大会 100m 出場			
第57回全国高専体育大会 4×100mR 出場			
第57回全国高専体育大会 4×400mR 出場			
第56回全国高専体育大会 100m 出場			
第56回全国高専体育大会 4×100mR 出場			
第56回全国高専体育大会 走幅跳 出場			
村 井 恒 誠	サッカー部	第53回全国高専サッカー選手権大会 出場	
沖 野 峻 大	剣道部	第59回四国地区高専体育大会 男子団体の部 優勝	
情報工学科	神 田 雅 人	陸上競技部	第58回全国高専体育大会 砲丸投 出場
			第58回全国高専体育大会 円盤投 出場
			第57回全国高専体育大会 砲丸投 出場
			第57回全国高専体育大会 円盤投 出場
			第54回全国高専体育大会 4×400mR 出場
東 垣 壮 真	陸上競技部	第57回全国高専体育大会 110mH 出場	
今 井 洸 樹	サッカー部	第53回全国高専サッカー選手権大会 出場	
岡 村 沙 奈	バスケットボール部	第58回四国地区高専体育大会 優勝	
			第57回全国高専体育大会 出場
			第56回全国高専体育大会 出場

■文化功労賞

学 科	氏 名	所属クラブ	活 動 成 績
電子機械工学科	三 島 佑 介	マイコン部	第32回全国高専プログラミングコンテスト 競技部門優勝
	柴 崎 彩 香	3Dデザイン同好会	令和5年度全国高専デザインコンペティション AMデザイン部門 優秀賞 高専GCON2023 本選出場
	瀬 野 舞 子	3Dデザイン同好会	高専GCON2023 本選出場
	野 上 竜 希	3Dデザイン同好会	令和5年度全国高専デザインコンペティション AMデザイン部門 優秀賞
	細 矢 寧 々	3Dデザイン同好会	令和5年度全国高専デザインコンペティション AMデザイン部門 優秀賞 高専GCON2023 本選出場
情報工学科	長 畑 桜 弥	書道部	第44回四国地区高専総合文化祭 書道の部 優秀賞
	奥 野 雄 大	マイコン部	高専セキュリティコンテスト2022 優勝

褒 賞 名	電子機械工学科	情報工学科
日本機械学会畠山賞	阪 部 巧 成	—
電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会 四国支部奨励賞	仁 田 梓 穂	門 田 智 樹
	門 口 安左馬 (生産システム工学専攻修了生)	
日本マリンエンジニアリング学会 優秀学生奨励賞「山下勇賞」	藤 原 翔 一	—
同窓会会長賞	野 上 竜 希	長 畑 桜 弥
精励賞	石 川 純	高 山 翔
	大 江 淳 貴	野 上 竜 希
	沖 野 峻 大	原 好 誠
	香 川 颯太郎	藤 井 良 真
	窪 田 蒼	細 矢 寧 々
	酒 井 遼 太	村 井 恒 誠
	阪 部 巧 成	山 崎 祐 輔
	柴 崎 彩 香	渡 辺 翔 太
	新 崎 颯 大	

公開講座「第1回ランニングチャレンジ in 弓削商船高専」を開催

1月14日(日)、陸上競技長距離種目の記録会(非公認記録)として「第1回ランニングチャレンジ in 弓削商船高専」を開催しました。

記録会には上島町内の小学生や、広島県や新居浜市の方々など計32名が参加しました。

今年度改修工事を行い、きれいになった陸上競技場のお披露目を兼ねており、当日は天候にも恵まれ、次回も開催の声が期待される良い記録会となりました。



ドコモのスマホ教室を開催

12月14日(木)、本科1年生を対象に株式会社ドコモCS四国による「ドコモのスマホ教室」を開催しました。

「ドコモの災害対策と弓削商船高専との協力について」「スマホの使い過ぎとSNSについて」「最新事業のご紹介」といった内容で、動画や寸劇によるわかりやすい説明を受けた学生は興味津々に受講していました。

通信の維持管理の重要性や必要性、スマホという身近なデバイスに潜む危険性などの理解を深めることができました。

また、本教室の開催に併せてドコモの移動基地局車の展示もお昼休みから教室終了の時間まで行われ、衛星を利用した通信技術について実物を見て学

ぶ機会を頂きました。

開催の様子は振り返りや他学年での聴講ができるよう、学内でオンデマンド配信を行っております。



尾道COOL CHOICEプロジェクト「海事教室」を実施

9月13日(水)から14日(木)に、尾道市役所にて「海事教室」を実施しました。これは尾道市が推進している「尾道COOL CHOICEプロジェクト」推進事業の一環として開催され、本校の商船学科及び電子機械工学科の教職員等を講師として、尾道市内の計3校の80名の小学生に対して出前授業と弓削丸体験航海を実施しました。次世代を担う小学生に対して、海洋プラスチック汚染問題等の環境課題や、私たちの豊かな生活を支える海運について学び、海と船についての関心と理解を深めることを目的として、環境学習、ものづくり体験、弓削丸体験航海を行いました。



弓削丸体験航海(操船体験)

環境学習ではマイクロプラスチックによる環境問題やブルーカーボンについて取り上げ、海洋環境を守る大切さなどを学びました。また、マイクロプラスチックを使った万華鏡づくりを行い、海洋環境について身近に考えてもらう機会となりました。

ものづくり体験では、児童が製品の元になるボルトやナット、歯車の仕組みなど実際の部品に触れながら学習しました。日本のものづくりを支える技術者について理解を深め、本校で作成したロボットの実演では児童たちは興味津々の様子でした。

弓削丸体験航海では、尾道中央棧橋から岩子島の沖まで約1時間の航海を実施しました。児童たちは船内を自由に散策し、船橋では操舵体験を行いました。機関室制御室ではプロペラの回る向きや速さの説明があり、「プロペラは後ろから見て左に回っていることが分かった。普段知ることができないことを学んだ」と喜んでいました。

本年度のイベントは中国新聞や尾道新聞に掲載され、また「ちゅピcom尾道(ケーブルテレビ)」でも放映されました。また、尾道市内の広報誌「広報おのみち」の表紙に掲載され、尾道市内に広く知らせることができました。

各種行事のアルバム



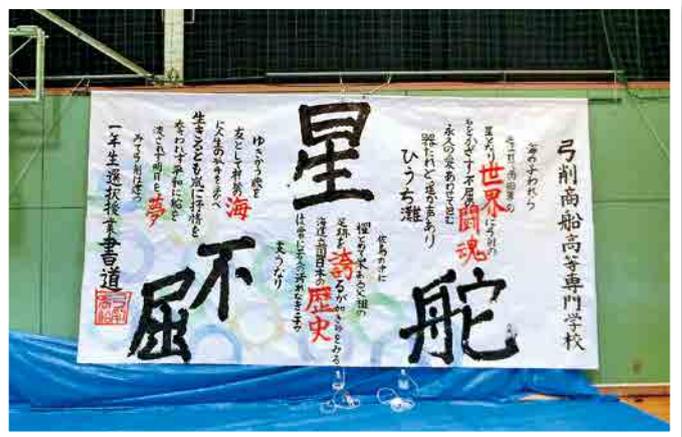
校内体育大会



第三代目弓削丸さよならセレモニー



放水体験（防災訓練）



本科1年生芸術発表会

学生相談室のご案内

「学生相談室」は、学生の皆さんが充実した学校生活を送ることができるようサポートしています。困りごとを相談したいとき、何を話せば良いか分からないけどなんとかしたいとき、誰に聞いたらいいかわからないとき等、気軽に学生相談室を利用してください。学生相談室では、主に以下のことを行っています。

「相談」（希望する学生・保護者）：家庭生活や学業、友人関係、精神的健康等に関して相談に応じています。

「アンケート」：学校生活の困り感について全体的に把握するために実施しています。

「研修」「相談室だより」：精神的健康の促進のための研修や、情報発信を行っています。

「保健室」で予約します。

カウンセラー紹介

相談室ホームページ QRコード



毎月、学生相談室だよりを発行し、学校ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

曜日	時間	担当
月	14:00～19:00	はるた 春田 ひろかず 裕和 ソーシャルワーカー
月・水	13:00～19:00	はやし 林 ゆうたろう 祐太郎 カウンセラー
木・金	13:00～19:00	はたの 端野 あい 愛 カウンセラー